

# トマト(青果・中玉)登録農薬適用表(1)(殺菌)

登録内容は2021年10月1日現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100%調整時薬量	適用病害虫	予防	治療	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺菌剤		M5	ダコニール1000	播種時又は活着後(定植14日後まで)	2回以内	4回以内(土壌灌注は2回以内)	1,000倍(希釈液3ℓ/m <sup>2</sup> )	—	苗立枯病(リゾクニア菌)	○	×	フロアブル	土壌灌注	TPN	同成分剤の使用回数に注意
				収穫前日まで	4回以内		1,000倍(100~300ℓ)	100ml	疫病、輪紋病、葉かび病、炭疽病、すすかび病、灰色かび病、うどんこ病	○	×	フロアブル	散布	TPN	同成分剤の使用回数に注意
		M5	ダコニールジェット	収穫前日まで	4回以内		20g/くん煙室容積100m <sup>3</sup>	—	葉かび病	○	×	くん煙剤	くん煙	TPN	同成分剤の使用回数に注意
		1	トップジンM水和剤	収穫前日まで	5回以内		1,500倍~2,000倍(100~300ℓ)	67~50g	菌核病、灰色かび病、葉かび病	○	○	水和剤	散布	チオファネートメチル	
		2	ロブラール水和剤	収穫前日まで	3回以内	農業総使用回数、合せて3回以内	1,000倍~1,500倍(100~300ℓ)	100~67g	灰色かび病	○	△	水和剤	散布	イプロジオン	同成分剤の使用回数に注意
							1,000倍(100~300ℓ)	100g	斑点病、輪紋病	○	△	水和剤	散布	イプロジオン	同成分剤の使用回数に注意
	劇	2	ロブラールくん煙剤	収穫前日まで	3回以内		100g/くん煙室容積300~400m <sup>3</sup>	—	菌核病、灰色かび病	○	△	くん煙剤	くん煙	イプロジオン	同成分剤の使用回数に注意
		9	フルピカフロアブル	収穫前日まで	4回以内		2,000~3,000倍(100~300ℓ)	50~33ml	灰色かび病	○	△	フロアブル	散布	メバニピリム	
		M7、17	ダイヤモンド	収穫前日まで	3回以内		1,500倍(150~300ℓ)	67g	葉かび病、灰色かび病	○	△	水和剤	散布	イミノクタジンアルベシル酸塩、フェンヘキサミド	
		3	トリフミン水和剤	収穫前日まで	5回以内	農業総使用回数、合せて5回以内	3,000倍~5,000倍(100~300ℓ)	33~20g	葉かび病	○	○	水和剤	散布	トリフルミゾール	同成分剤の使用回数に注意
							3,000倍(100~300ℓ)	33g	すすかび病	○	○	水和剤	散布	トリフルミゾール	同成分剤の使用回数に注意
		3	トリフミンジェット	収穫前日まで	5回以内		50g/くん煙室容積400m <sup>3</sup>	—	葉かび病	○	○	くん煙剤	くん煙	トリフルミゾール	同成分剤の使用回数に注意
		7	アフエットフロアブル	収穫前日まで	3回以内		2,000~4,000倍(100~300ℓ)	50~25ml	うどんこ病	○	×	フロアブル	散布	ベンチオピラト	
							2,000倍(100~300ℓ)	50ml	灰色かび病、葉かび病、菌核病、すすかび病	○	×	フロアブル	散布	ベンチオピラト	
		7	カンタスドライフロアブル	収穫前日まで	3回以内	農業総使用回数、合せて3回以内	1,000~1,500倍(100~300ℓ)	100~67ml	灰色かび病、葉かび病、菌核病	○	○	ドライフロアブル	散布	ボスカリド	同成分剤の使用回数に注意
		7、11	シグナムWDG	収穫前日まで	2回以内		2,000倍(100~300ℓ)	50ml	うどんこ病、葉かび病、灰色かび病、すすかび病、菌核病	○	○	顆粒水和剤	散布	ピラクロストロピン、ボスカリド	同成分剤の使用回数に注意
		11	アミスター20フロアブル	収穫前日まで	4回以内		2,000倍(100~300ℓ)	50ml	葉かび病、灰色かび病	○	○	フロアブル	散布	アゾキシストロピン	
		11	ファンタジスタ顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内		2,000~3,000倍(100~300ℓ)	50~33g	灰色かび病、菌核病、葉かび病、すすかび病、斑点病	○	○	顆粒水和剤	散布	ピリベンカルブ	
		19	ポリオキシシンAL水溶剤	収穫前日まで	3回以内		5,000倍(100~300ℓ)	20g	葉かび病、灰色かび病、アザミウマ類	○	○	水溶剤	散布	ポリオキシシン	
		21	ランマンフロアブル	収穫前日まで	4回以内		1,000~2,000倍(150~300ℓ)	100~50ml	疫病	○	△	フロアブル	散布	シアゾファミド	
	40	レーバスフロアブル	収穫前日まで	3回以内		1,500~2,000倍(100~300ℓ)	67~50ml	疫病	○	×	フロアブル	散布	マンプロロハミド		
	24、M1	カスミンボルドー	収穫前日まで	5回以内		1,000倍(100~300ℓ)	100g	かいよう病、斑点細菌病、葉かび病、疫病、輪紋病、軟腐病	○	○	水和剤	散布	カスガマイシン、塩基性塩化銅		
	M1	サンヨール	収穫前日まで	4回以内		500倍(100~300ℓ)	200ml	葉かび病、灰色かび病、うどんこ病、ハダニ類、アブラムシ類、コナジラミ類	○	×	乳剤	散布	DBEDC		
	M1	クプロシールド	—	—		1,000~2,000倍(100~300ℓ)	100~50ml	疫病	○	×	フロアブル	散布	塩基性硫酸銅		
	M1	コサイド3000	—	—		1,000倍(100~300ℓ)	100g	疫病	○	×	水和剤	散布	水酸化第二銅		
	M1	ドイツボルドーA	—	—		500倍(100~300ℓ)	200g	疫病、斑点病、葉かび病	○	×	水和剤	散布	塩基性塩化銅		
	M1	Zボルドー	—	—		400~600倍(100~300ℓ)	250~167g	疫病、輪紋病(すすかび病500倍)	○	×	水和剤	散布	塩基性硫酸銅		

◆銅剤の使用について・・・散布後、果面に薬が付着しやすいので収穫期は注意して散布しましょう。

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
茎葉除草剤(選択性)		ナブ乳剤	収穫14日前までの雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期)	150~200ml(100~150ℓ)	1回	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	乳剤	雑草茎葉散布	セトキシジム	
茎葉除草剤(非選択性)		バスタ液剤	収穫前日まで(雑草生育期定植前又は畦間処理)	300~500ml(100~150ℓ)	3回以内	一年生雑草	液剤	雑草茎葉散布	グルホシネート	

# トマト(青果・中玉)登録農薬適用表(2)(殺虫)

登録内容は2021年10月1日現在

用途	毒劇	IRAC コード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率・使用量(10a当り)	100g調整時 薬量	適用病害虫	効果 発現性	残効性	剤型	使用方法	成分名	備考	
殺虫剤		1	ネマトリンエース粒剤	定植前	1回	15~20kg	—	ネコブセンチュウ	—	—	粒剤	全面土壌混和	ホスチアゼート		
		4	ベストガード粒剤	播種時又は鉢上げ時	1回	5g/培土12	—	アブラムシ類、コナジラミ類	—	—	粒剤	育苗培土混和	ニテンピラム		
	育苗期			1g/株		—	アブラムシ類	株元処理							
	定植時			1~2g/株		—	コナジラミ類	植穴処理土壌混和							
				1~2g/株		—	アブラムシ類、コナジラミ類								
		4	アドマイヤー1粒剤	定植時	1回	1~2g/株	—	アブラムシ類、コナジラミ類	—	—	粒剤	植穴土壌混和	イミダクロプリド		
		4	ベストガード水溶剤	収穫前日まで		3回以内	1,000~2,000倍(100~300g)	100~50g				アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類			中
		4	ダントツ水溶剤	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25g	コナジラミ類、アブラムシ類	中	長	水溶剤	散布	クロチアニジン		
		4C	トランスフォームフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000~2,000倍(100~300g)	100~50ml	コナジラミ類							速
		4	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	アブラムシ類	中	長	顆粒水溶剤	散布	アセタミプリド	同成分剤の使用回数に注意	
		4	モスピランジェット	収穫前日まで	3回以内	農薬総使用回数、合わせて3回以内	50g/く煙室容積400ml	—	コナジラミ類、ミカンキイロアザミウマ	中	長	くん煙剤	くん煙	アセタミプリド	同成分剤の使用回数に注意
		28	ブリロッソ粒剤	育苗期後半~定植時	1回	2g/株	—	アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類	—	—	粒剤	株元散布	シアントラニリプロール		
		28	ベネビアOD	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25ml	オオタバコガ	速	長	液剤	散布	シアントラニリプロール		
						2,000倍(100~300g)	50ml	アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類							
		28	プレバソフロアブル5	育苗期後半~定植当日	1回	100倍(25ml/株)	—	ハモグリバエ類、コナジラミ類	速	長	フロアブル	灌注	クロラントラニリプロール		
				200倍(50ml/株)	—	—	—								
				収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	オオタバコガ							
		28	フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25g	オオタバコガ、ハスモンヨトウ	速	長	顆粒水和剤	散布	フルベンジアミド		
		3	アーデント水和剤	収穫前日まで	3回以内	1,000倍(150~300g)	100g	ミカンキイロアザミウマ、オオタバコガ	速	中	水和剤	散布	アクリナトリン		
		劇	3	アグロスリン乳剤	収穫前日まで	5回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	オンシツコナジラミ、アブラムシ類	速	長	乳剤	散布	シベルメトリン	
		5	ディアナSC	収穫前日まで	2回以内	2,500~5,000倍(100~300g)	40~20ml	オオタバコガ、ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ、アザミウマ類	速	短	フロアブル	散布	スピネトラム		
						2500倍(100~300g)	40ml	コナジラミ類							
		5	スピノエース顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	5,000倍(100~300g)	20g	オオタバコガ、ハモグリバエ類、アザミウマ類	速	短	顆粒水和剤	散布	スピノサド		
		6	コロマイト乳剤	収穫前日まで	2回以内	1,500倍(100~300g)	67ml	コナジラミ類、トマトサビダニ、ハモグリバエ類	速	短	乳剤	散布	ミルベメクテン		
		6	アニキ乳剤	収穫前日まで	3回以内	1,000~2,000倍(100~300g)	100~50ml	コナジラミ類、ミカンキイロアザミウマ	速	短	乳剤	散布	レピメクテン		
						2,000倍(100~300g)	50ml	オオタバコガ、ハスモンヨトウ、ハモグリバエ類、トマトサビダニ							
		6	アフーム乳剤	収穫前日まで	5回以内	農薬総使用回数、合わせて5回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	オオタバコガ、トマトサビダニ、ハモグリバエ類、コナジラミ類	速	短	乳剤	散布	エマメクテン安息香酸塩	同成分剤の使用回数に注意
		6、15	アフームエクセラ顆粒水和剤	収穫前日まで	2回以内	1,500倍(100~300g)	67g	オオタバコガ、ハモグリバエ類	速	長	顆粒水和剤	散布	エマメクテン安息香酸塩、ルフェスロン	同成分剤の使用回数に注意	
		15	カスケード乳剤	収穫前日まで	4回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25ml	オオタバコガ、マメハモグリバエ	遅	長	乳剤	散布	フルフェノクスロン		
						2,000倍(100~300g)	50ml	ミカンキイロアザミウマ、トマトハモグリバエ							
						4,000倍(100~300g)	25ml	トマトサビダニ、ハスモンヨトウ、コナジラミ類							
		9	チェス顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	5,000倍(100~300g)	20g	アブラムシ類、コナジラミ類	—	—	顆粒水和剤	散布	ビメロジン		
		9B	コルト顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	4,000倍(100~300g)	25g	アブラムシ類、コナジラミ類	中	長	顆粒水和剤	散布	ピリフルキナゾン		
	劇	13	コテツフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	ミカンキイロアザミウマ、オオタバコガ、ナミハダニ、トマトサビダニ	速	中	フロアブル	散布	クロルフェナビル		
	20	マイトコーネフロアブル	収穫前日まで	1回	1,000倍(100~300g)	100ml	ハダニ類、トマトサビダニ	中	中	フロアブル	散布	ビフェナゼート			
	23	モベントフロアブル	収穫前日まで	3回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	アザミウマ類、アブラムシ類、コナジラミ類、トマトサビダニ	遅	長	フロアブル	散布	スポロテトラマト	養蜂注意		
	29	ウララDF	収穫前日まで	3回以内	2,000~4,000倍(100~300g)	50~25g	アブラムシ類	遅	長	顆粒水和剤	散布	フロニカミド			
					2,000倍(100~300g)	50g	コナジラミ類、ミカンキイロアザミウマ								
	30	グレーション乳剤	収穫前日まで	2回以内	2,000倍(100~300g)	50ml	ハスモンヨトウ、コナジラミ類、トマトハモグリバエ	速	長	乳剤	散布	フルキサメタミド			
	UN	プレオフロアブル	収穫前日まで	2回以内	1,000倍(100~300g)	100ml	オオタバコガ、ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ	中	長	フロアブル	散布	ピリダリル			
	—	サンクリスタル乳剤	収穫前日まで	—	300~600倍(150~500g)	333~167ml	ハダニ類、トマトサビダニ、うどんこ病	中	短	乳剤	散布	脂肪酸グリセリド			
					300倍(150~500g)	333ml	アブラムシ類、コナジラミ類								

◆「アベイル粒剤」削除(令和4年度中に使用して下さい)